

2019年度 西宮・宝塚 YMCA デイキャンプ (キッズ・ジュニア・シニア) 【ご案内】

YMCAは・・・

YMCA (Young Men's Christian Association) は1844年ロンドンで誕生して以来、全世界に広まり、現在では世界119の国と地域に組織された国際的青少年団体です。神戸YMCAは1886年に設立され、西宮、宝塚、須磨、三宮、西神、明石を拠点に活動を展開しています。

YMCAは地域のニーズに応え、生涯にわたる学習、語学教育、国際理解教育、幼児教育、野外活動、健康教育、ボランティア活動等を通じて青少年の人格向上とその精神・知性・身体の調和と発達を願い、キリストに示された愛と奉仕の生き方を分かち合うことを目的とし、民間の非営利公益法人として活動しています。

2019年度 年間活動予定

キッズ : 幼児(4~5歳児)対象 ジュニア: 小学1~3年生対象 シニア : 小学3~6年生対象

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キッズ	14日	19日	9日	7日		1日	6日	10日	1日	26日	16日	7-8日
ジュニア	21日	19日	9日	21日		8日	6日	17日	1日	26日	16日	7-8日
シニア	21日	19日	9日	21日		8日	6日	17日	1日	26日	16日	7-8日

※ジュニアは低学年、シニアは高学年の体力や興味に合わせてプログラム内容を検討しています。

例会当日の集合解散について (集合解散場所詳細・送迎について)

【集合解散場所詳細】

- ① 阪急西宮北口駅：駅南西口1階 (ロータリー前)
- ② 阪急夙川駅：駅改札口前スペース
- ③ 阪急宝塚駅：駅改札前 (券売機前スペース) ジュニア・シニアのみ
- ④ JR住吉駅：駅改札前

◇お問い合わせ・ご連絡等は・・・ **西宮YMCA**

〒662-0977 西宮市神楽町5-23

TEL 0798-35-5987

FAX 0798-23-6170

●業務時間 月曜日～土曜日 10:00～18:00

●休館日 日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

<YMCA デイキャンプの目的>

YMCAのデイキャンプは、子どもたちの成長を最優先に願った教育的なプログラムを実施します。デイキャンプを通して『わたしたちも自然の一員であることを理解し、自然と素直に向き合い、豊かな自然の恵み、偉大さを感じ取り、その中で自己の価値観を持ち、ひとりの人間として成長していくこと』を目指します。

<YMCA デイキャンプの意義>

①自分を取り巻く環境に適応する力を養います。

なるべく人の手が入らないフィールドの中で、プログラム（登山・ハイキング・カヌー・・・etc）を楽しみます。技術・知識・体力の面で高度なものを要求されることなく、どんな子どもでも自分の力でその活動を楽しむことができるようにします。最低限の情報（知識・技術）を与え、その中で、楽しむためにはどうすればいいのか？ということ子ども自身が試行錯誤の中で見出すことができるようにします。目の前の物事にあわせて自身を変化・適応させる力を養います。どんな環境（自然環境だけでなく）の中でも自分を柔軟に変えていくことができるしなやかで且つ、強い人間性を育てます。

②子どもたちの主体的な活動を大切にします。

活動に際して、最小限の指導・環境の設定をします。子どもたちが自身で考え、決めて、やってみる中での成功体験を何より大切にします。自発的な行動による成功体験は、子どもたちの責任感と、自己肯定感を高め、何事に対しても積極的に取り組むことができる力を養います。

③小グループの中での「他者理解」「自己理解」を深めます。

小グループの活動を通して、自分とは違う存在である他者に対する理解を深めます。様々な体験をともにすることで相手との違いを受け入れ、他者とのより良い関わり方について体験的に学びます。

<YMCA 野外活動の内容>

①プログラム

デイキャンプにおける高度な技術や知識、また、高い運動能力や理解力が求められる活動ではなく、誰でも楽しむことができるようにプログラムを設定します。野外技術や知識を指導者が一方的に子どもに詰め込み式で伝えていくのではなく、必要最小限の知識・技術をもとに、子どもが自分自身で考え、決めて、やってみることを大切にします。（年間でのプログラム・活動場所を設定していますが、何よりも「いま、そのとき」の子どもの成長に合ったプログラム・活動場所を用意するため、年間予定から変更する場合があります。）

②グループ

性別・年齢別（およそ2学年程度）のグループで、8名～12名余りの子どもに対して、1～2名の指導者で構成します。グループは1年間固定で活動します。住む場所も学校も違う、野外活動だけで会う仲間たちと共に1年間過ごすことによって、対人関係について体験的に学び、普段とは違う自分や新たな自分に出会うことを促します。大人による過度の管理・指導を避け、子どもたち自らが関わり合いの中で、気づき、学んでいくことができる環境を作っています。子ども同士の自由な関わりあいの中で、子どもが大きなトラブルや失敗をしないように指導者がサポートします。

③活動場所

子どもたちの適応力を高めるためになるべく人の手が入らないフィールドを使います。そんな環境の中でも知恵と工夫によって、その場を楽しむ方法を、指導者のサポートのもと、自分で見つけていくことを促します。

④指導者

子どもの指導法・安全管理・野外技術の研修を受けた学生ボランティアリーダーが、子どもたちにとって、より身近なモデルとして、子ども自身の成長を促し、子どもたちの活動をサポートします。また、専門のスタッフ（職員）が必ず活動には同行し、学生ボランティアリーダーを指導・監督します。年間を通して、救急法・危機管理等のトレーニングを実施し、安全管理を行っております。